



〒441-3402 愛知県田原市吉胡町矢崎42-4

Tel.0531-22-8060

Fax.0531-22-8070



(ホームページ)



(Instagram)

- 開館時間 午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日) 年末年始(12月28日～1月4日)
- 観覧料 一般 200円 / 小中生 100円 田原市博物館との共通券もあります。

ACCESS

- 豊橋鉄道渥美線「三河田原駅」徒歩35分
- 豊鉄バス伊良湖本線「田原萱町」徒歩30分
- 田原市ぐるりんバス童浦線「シェルマよしご」バス停下車、徒歩1分



来館記念スタンプ台紙



遊ぼう、縄文の丘

吉胡貝塚 史跡公園

学ぼう、先人の知恵

貝塚は縄文時代を雄弁に語る

吉胡貝塚は縄文時代後期末・晩期を中心とする日本を代表する貝塚です。大正11・12年、京都大学の清野謙次博士が調査を実施。300体を超える人骨が発見され、一躍有名となりました。昭和26年に、文化財保護法にもとづく国内第1号の発掘調査が行われ、土器、石器、骨角器、縄文人骨など多数出土し、大きな成果をおさめ、昭和26年12月26日、国指定史跡となりました。

田原市では、吉胡貝塚を一般の方が広く活用し、その価値を次世代に伝えていただくため、整備に取り組みました。平成19年(2007)に開園した、吉胡貝塚史跡公園・吉胡貝塚資料館は文化遺産に気軽に楽しく接していただき、渥美半島の自然、歴史を体感していただくための施設です。





1 矢崎岩

吉胡貝塚のランドマークと言っべき大岩（縄文時代からここにありました）。昭和26年の調査では、若き考古学者が記念撮影をした場所です。縄文人と同じ目線でこの場で遺跡を見渡してはいかがでしょうか。

2 19号人骨発掘場所

昭和26年、文化財保護委員会が発掘した人骨の出土位置。出土したのは50歳代の女性（愛称：ヨシさん）で、右腕には4個、左腕には7個の貝の腕輪がはめられ、朱（顔料）が撒かれていました。特別な女性だったようです。



● 貝塚とは ● 何でしょう？



貝塚を調査すると、縄文人が食べた貝や動物の骨とともに、壊れた土器や石器ばかりではなく、ていねいに埋葬されたペットの犬や人骨までもみつかります。一見するとムラのゴミ捨て場のようにも見える貝塚ですが、決してそうではないのです。この世での役割を終えたあらゆるものを集め、あの世に送り、再びこの世にかえってくることを願った、神聖な場所でもあったのです。縄文人たちは、彼らを取り巻くすべてのものをおそれやまい、やさしい気持ちで接していました。人間までもが貝塚に葬られている理由はここにあります。

● 吉胡貝塚の ● 人たちの暮らし

吉胡貝塚の人たちは、海の幸、山の幸に恵まれた環境にありました。貝塚から見つかるマガキ、ハマグリ、アサリは、春から夏にかけて近くの干潟や浅瀬でとられていました。クロダイ、スズキなどの大きな魚は、ヤスで突き、小さな魚は網でまとめてとられていたようです。春は山菜、秋はデンブンとなるドングリ類、根茎類、冬を中心に、イノシシ・シカ類などを弓矢を使ってとっていました。



7 吉胡貝塚資料館



3 貝塚

発掘調査によって、貝層は4,500㎡の範囲で分布し、3箇所以上の地点貝塚を含む貝塚であることがわかりました。貝塚の範囲は、公園内に石灰岩を配置して示しており、その規模を感じることができます。



周囲の景観に溶け込んだ資料館となっています。吉胡貝塚の人々の暮らしを模型、写真、出土品で分かりやすく説明します。特に吉胡貝塚の特徴である、埋葬された人骨や貝塚にスポットを当てています。また、「体験学習教室」では、まが玉づくりや火おこしなど、さまざまな体験を行い、楽しみながら学ぶことができます。



体験学習

4 矢崎御殿跡

田原城主三宅康直が晩年(1863-1866)に隠居屋敷としたもの。当時の石垣が残っています。矢崎の由来は、徳川家康が射った矢が届いた先とも言われていますが、定かではありません。



5 貝塚平面展示施設

発掘調査で露出した吉胡貝塚で最も古い貝塚(縄文時代後期～晩期初)を、そのまま保存処理しています。ここでは、貝のほか、動物の骨、土器などの破片を発掘したままの状態で見学できます。



6 貝塚断面展示施設

昭和26年の発掘調査場所を利用した施設。貝塚の断面や縄文時代のお墓の様子を見学できます。吉胡貝塚では、縄文時代に埋葬された人骨が数多く発掘されました。ここでは墓地としての吉胡貝塚が分かるよう、平成17年に発掘された状況を模型で再現しています。



壺に入れられた人骨の様子

